

2022年～2023年 注目したい天文現象

2022年～2023年に見たい天文現象はこれだ！

2022年11月8日
皆既月食＋天王星食



月が、地球の作る影の中にすっぽり入ってしまう現象が「皆既月食」です。月は完全に見えなくなるわけではなく、赤銅色の不思議な姿を見せてくれます。また、今回の月食では、月食の最中に天王星が月によって隠される「天王星食」が起こります。このように、月食の最中に惑星が月によって隠されるのは、たいへん珍しいことです。天王星を見るなら双眼鏡や望遠鏡が必要です。

2022年12月
火星最接近



約2年2か月周期で地球に接近する火星が、12月1日に最接近します。最も接近したときの地球からの距離は8,145万kmと、2018年の5,759万kmと比べると、やや遠めです。それでも、2022年10月から2023年1月くらいまで、赤く明るい星として、たいへん目立って見えるでしょう。表面の模様を見るためには、ある程度大きな望遠鏡が必要です。

2023年12月14～15日
ふたご座流星群



2023年12月のふたご座流星群は、とても良い条件が揃っています。まず、流星群の活動が最も活発になるのが、日本でいちばん観察しやすい真夜中すぎの時間帯だということです。もうひとつは、月の影響がないことです。明るい月が出ていると暗い流星が見えなくなってしまうのですが、2023年は夕方早くに月は沈んでしまい、一晩中月の影響はありません。寒い時期ですが、ちょっと頑張って観察してみたいかがでしょう。

天文に関する情報を知るには・・・

天文現象の情報がほしい

夜空では(場合によっては昼空でも)、毎月さまざまな天文現象が起こっています。でも、いつどんな天文現象が起こるのか、なかなか知ることができませんよね。前もってわかっていれば見たかったのになー、と思ったことのあるあなた。

「**ほしぞら情報**」をご覧ください。

「ほしぞら情報」では、毎月の天文現象から興味深く観察しやすいものをピックアップして、それぞれわかりやすい説明とともに紹介しています。

<https://www.nao.ac.jp/astro/sky/>



国立天文台のイベントや研究について知りたい

講演会などのイベントや国立天文台の研究成りについて知りたいというあなた。

「**国立天文台メールニュース**」に申し込んでみてはいかがでしょうか。

<https://www.nao.ac.jp/mailnews/>



天文の幅広い話題を知りたい

天文や国立天文台についての身近で幅広い話題を知りたいあなたには

「**広報ブログ**」をお勧めします。

国立天文台サイトのトップページでも「最新のニュース」で広報ブログの記事を紹介しています。

<https://www.nao.ac.jp/news/blog/>



とにかくいろいろな情報がほしい

天文情報も、イベントも、研究成果も、なんでもかんでも情報をたくさん知らせてくれたら嬉しい、というあなた。

Twitterをフォローしませんか。

国立天文台のTwitterでは、さまざまな情報をほぼ毎日(ときには1日に何回か)発信しています。

<https://twitter.com/prcnaoj/>

